

令和3年度 広野町施政方針

いのちを守り、人を活かし、未来をつくる町

第1回広野町議会定例会で遠藤智町長が令和3年度の広野町の施政方針を表明しました。町の進む未来や今後の取り組みをお伝えします。

4月からの新体制 広野町職員一覧

町長	遠藤 智
副町長	松本 正人
教育長	根本 修一
代表監査委員	黒田 惣一
総務課	課長 兼 課長兼政策広報室長 林 聡宏
	課長補佐兼庶務係長 鯨岡 圭介
	課長補佐 金子 一隆
	財政管財係長 佐藤 和也
	政策広報室政策広報係長 磯部 智史
	主任主査 北郷 弘貴
	(福島県後期高齢者医療広域連合派遣) 遠藤 聡
	専門員 (再任用) 遠藤 聡
庶務係兼財政管財係兼政策広報係	課長 小松 和真
	課長補佐兼企画振興係長 北郷 功

課長補佐兼復興建設係長	久保田隆之
専門員	渡辺 弘幸
企画振興係兼復興建設係	主任主査 (再任用) 渡辺 弘幸
	主任主査 真城 清章
	(福島県任期付派遣) 鈴木 政人
	主任主査 大和田 徹
	主任主査 黒田 峻介
	主査 横田 侑哉
主事	横田 侑哉

課長	佐藤 尚文
課長補佐兼戸籍係長兼賦課係	林 澄子
長兼収納係長	戸籍係兼賦課係兼収納係 秋田 尚志
主任主査	齊藤 真人
主任主査	松本 夏実
主査	(岐阜市派遣) 渡辺 南
主査	坂本 拓貴
主査	猪狩 愛子
主査	遠藤 雅大

課長兼保健センター所長	飯島 洋一
課長補佐兼放射線健康相談係	横山 正文
課長補佐兼健康福祉係長	佐久間啓子
(こども家庭課兼務)	松本 貴文
保険年金係長	鯨岡 晋悟
専門員	松本 貴文
(広野町社福協議会派遣)	

保健福祉係兼保険年金係兼放射線健康相談係	主任主査 新妻 秀平
主事	猪狩 稚菜
主事	秋田 さとみ
主事	長谷川隆広
主事	水野 友美
	(新採用) 藤田 奈緒美
保健センター	保健福祉係長 藤田 奈緒美
	(こども家庭課兼務) 黒田 香織
主任保健師	(こども家庭課兼務) 矢吹 萌
主任保健師	(こども家庭課兼務) 矢吹 萌

課長補佐兼こども園長	根本 美江
課長補佐兼こども副園長	北郷 恵子
こども育成係長	阿部 加奈子
専門員	鈴木 秀臣
(再任用)	武部 純
主任主査	根本 樹
主事	根本 樹
こども家庭課	主任保育教諭 松下 愛
	主任保育教諭 吉田 美和
	主任保育教諭 新妻 有貴
	副主任保育教諭 山田 優花
	副主任保育教諭 根本 幸
	副主任保育教諭 山田 仁美
	保育教諭 坂本 絵里紗
	保育教諭 蛭川 結末

課長	猪狩 裕一
課長補佐兼農林振興係長	志賀 裕一
農工商観光係長	根本 明和
専門員	根本 英俊
(再任用)	丹野 俊司
農林振興係兼農工商観光係	主任主査 星 悠太
主任主査	(任期付) 星 悠太
主任主査	星 悠太
建設課	課長 松本 周次
	課長補佐 北郷 智恵子
	建設係長 坂本 充宏

保育教諭	中野 花香
児童館	渡 忠義
児童館長	渡 忠義
こども育成係長兼副館長	六戸 由香
主任児童厚生員	小玉 茉紀
副主任児童厚生員	坂元 亜希
環境防災課	課長 高橋 喜孝
	課長補佐兼消防防災係長兼生活環境係兼除染対策係長 黒田 泰将
	専門員 芳賀 弘美
	(再任用) 黒田 泰将
消防防災係兼生活環境係兼除染対策係	主任主査 鯨岡 祐紀
	主事 谷平 涼

課長	松本 周次
課長補佐	北郷 智恵子
建設係長	坂本 充宏

都市計画係長	鈴木 亮
建設係兼都市計画係	主任主査 佐々木道夫
	主査 (任期付) 新山 貴士
	(三郷市派遣) 渡辺 駿
	主査 遠藤 尚己
主事	遠藤 尚己
出納室	会計管理者兼室長 遠藤 義宏
	出納審査係長 鈴木 恵
教育委員会事務局	教育次長兼課長 加賀 博行
学校教育課	学校教育係長兼指導主事 渡邊 智幸
	学校教育係長 根本 忠幸
	主査 遠藤 結花
教育委員会事務局	生涯学習課(公民館) 課長 岡 修一
	課長補佐兼生涯学習係長 松本 房幸
農業者委員会事務局	局長 久田 宗俊

『いのちを守り』に つなぐ事業

新型コロナウイルス感染症対策

65歳以上の高齢者等や町内に帰省を希望する学生、成人式参加者を対象にPCR検査助成事業の継続、インフルエンザ予防接種助成対象を全町民に拡大することにより、感染拡大防止を図ります。

新型コロナウイルス接種体制

コールセンターの設置や電子予約システムの導入による予約受付相談体制を構築し、的確な情報発信をすることにより、町民の皆様が確実に接種できる体制を整えてまいります。

町の健康課題

高血圧や高脂血症、肥満、糖尿病などによる心臓病や脳血管疾患の循環器疾患が多い事が挙げられ、県が公表したお達者度では、県下でも最も低いという結果となっております。

これら健康課題に対応するため、働き盛り世代の頃から健康づくりと介護予防の両取り組みが重要になります。家庭、地域、行政などが相互に

連携・協働し、健康づくりの普及啓発活動を強化します。さらに、有識者による「健康づくり推進協議会」において、第2次健康づくり計画の進捗管理を実施します。

町民の健康管理

特定健診やがん検診の受診率向上をめざし、土曜日や日曜日の健診実施と受診勧奨を行います。保健師等による保健指導、家庭訪問、運動や減塩の教室を開催するとともに、フィットネス利用料金助成など、町民の健康増進に取り組んでいきます。



保健指導を実施

においても胃がん対策を強化します。健康意識の高揚のための「健康まつり」、「健康講演会」の開催、感染症予防のための予防接種助成及び人間ドック・脳ドック費用助成を実施します。

町内の医療体制

医療環境の充実向上を図ることを目的とした医療環境向上推進事業を継続し、休診日等の当番制による診療体制を整え、医療機関に対する支援を継続するとともに、町民が安心して生活できるよう、町内医療機関と連携を図っていきます。さらに、平成31年度町独自の包括的手帳として作成した「広野町健康福祉手帳」の普及を進め、医療・福祉・保健機関が有機的な地域連携に取り組んでいきます。

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険における保険料・保険料及び一部負担金

上位所得層を除く被保険者は、昨年に引き続き免除されることとなり、保険料・保険料につきましては令和4年3月分まで、一部負担金につきましては令和4年2月28日まで免除期間が延長されます。

なお、上位所得層の方につきましては、保険料・保険料及び一部負担金の負担をいただきます。本町の医療費等は、著しく高い水準にあります。特定健康診査の受診率向上、医療費適正化の推進、健康意識の啓発、医療費分析の結果を活用した保健事業などに取組み、各医療制度の事業運営の安定化に取り組んでいきます。

高齢者福祉

健康で生きがいを持って安心して暮らすことができるよう関係機関と連携し、外出支援サービス事業、配食サービス事業のほか、高齢者の見守り体制を構築するため「広野まるごと応援隊ネットワーク事業」の普及に努め、「福祉のまちづくり」実現に向け、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の生活支援を充実していきます。

障がい者福祉

障がい者が自立した生活を送ることができるよう、障がい者自立支援給付事業や地域生活支援事業を通じて日常生活を支援して、各種障がい福祉サービスや相談業務の充実

がん検診

令和元年度から50歳以上の方を対象に胃がん検診内視鏡検査を開始しており、今年度